2020 年度　事業報告書

「茅ヶ崎公園指定管理者」NPO 法人茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

1　公園管理業務実施報告

1）　維持管理基本水準書をもとに、日常巡視、建築物点検、清掃等をおこなった。
2）　植物管理　：　年間計画に沿って草刈り、枯木等除去伐採をおこなった。
3）　水辺管理 ： 年間計画をもとにアシ刈り、適宜に堆肥泥の浚渫をおこなった。
　　別途、横浜市の委託を受け、水生生物・水質調査、外来種駆除等をおこなった。
4）　水田管理 ： 草刈り、畦管理、水管理等をおこなった。
5）　施設管理 ： 園路、給排水施設、工作物等の定期点検、随時清掃をおこなった。
　　横浜市に相談し、園内の 10 か所で伐採・折れ枝の撤去・伐採枝の運び足しをしていただいた。追加で 4 本の樹木の伐採・3 本の樹木の折れ枝の撤去を業者に依頼した。
6）　建物管理 ：トイレ、詰所の日常点検をおこなった。
　　倉庫の雨漏り、詰所周りの木造構造物、デッキ策板等も頻繁に点検し、修繕をおこなった。
7）　「安全対策マニュアル」をもとに、公園利用者の安全をはかった。
8）　植生及び水辺調査を継続し、結果をもとに保護、伐採等保全作業をおこなった。
9）　利用者アンケート（来園者・米作りほか催し）を実施、意見を参考に対応した。

2　自主事業実施報告

1）植生豊かな公園をめざし、施設管理をおこなった。
2）生物の多様性を図るため、調査、保全作業、水生生物保護等をおこなった。
3）田んぼの維持管理を行い、里山景観保全と生物多様性を図り、活動した。
4）地域の自然を知り、楽しめる観察会、体験を計画し、実施した。
5）公園利用者が地域の自然にふれ、楽しめるよう展示等をおこなった。

3　その他

1）新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら公園管理業務と自主事業をおこなった。
2）夏季は熱中症対策をとった上で公園管理業務と自主事業をおこなった。

2020 年度　事業報告

特定非営利活動法人
茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

「施設の自然環境を地域の財産としてより豊かに、未来へ引き継いでいく」「施設の特徴を活かし、地域の方々に自然の恵みと魅力を感じていただけるように管理を行う」 これら基本方針のもと、事業を行いました。本年度は新型コロナウイルス（以下、新型コロナ）感染拡大に伴い、感染防止対策の考案・徹底、イベント・作業の縮小または中止等、対応に苦慮しました。しかし、そのような中でも通常通り開園し、小規模ながら観察会を開催し、地域の方々に自然とのふれあいの機会を提供し続けることができました。また、田んぼや里山の維持管理作業はボランティアの方々のご協力で滞りなく続けることができました。今後も引き続き、安全な施設管理を心掛けていきたいと考えています。

1. 施設管理事業

基本方針「気持よく自然を感じ、安心して利用できる公園管理」のもと、管理を行いました。（p9-10）

施設管理事業には大きく分けて、構造物の維持管理と、自然の保全の 2 種があります。前者は主にスタッフが担い、後者はスタッフによる支援作業、サポーターさんをはじめとするボランティアの方々を含めた定例保全作業を中心に行っています。

1. 1. 構造物の維持管理　毎週2回、園内のデッキの柵やボルトのゆるみ、詰所周りの木製構造物の破損・腐食等、細部まで点検を行い、必要に応じて修繕を行う等、施設の安全性の維持に努めました。水辺委託業務の一環として、御手洗池の仔稚魚がトンボ池に流下するのを防ぐための網枠構造物を作成し、排水口に設置しました。また、正門前のカメの展示水槽の木枠の腐食が見られたため、木枠の交換、作り替えを行いました。その他、御手洗池沿いの作業用通路等に立入禁止のための木製のバーを設置する等、追加の作成も随時行いました。

仔稚魚流出防止構造

1. 2. 定例保全作業　計画から実施の流れとして、①事務局スタッフがゾーンごとの植生環境と管理目標をふまえ、場所を選定し、下準備を行う。 ②定例作業当日、ボランティアの方々とスタッフとで低木伐採とササ刈りなどを実施 ③ ②の後に適宜、支援スタッフが伐採木や枝をチッパーにかける、薪を作るなどして活用処理を行う。 ④ ①～③とは別に、適宜、事務局スタッフが植生環境と管理目標をふまえ、草やササ刈りを実施。 という一連の作業が定着しています。今年度は緊急事態宣言が出ている期間（4～6 月、1～3 月）は、ボランティアの方々と行う定例作業は中止としました。その間、スタッフのみで作業を行い、園路沿いは気持ちよく散策できるよう、維持管理を続けました。

緊急事態宣言解除後に、参加者が再び集まるかどうか懸念されましたが、常連の方々はこれまで通りお集まりくださり、新規の方々も、毎月ご参加くださいました。

保全作業風景

1. 3. 気候の変化　今年度は、前年度のような台風の被害はなかったものの、6－7 月の長梅雨・低温は特異的でした。その影響であるかは定かではありませんが、夏の甲虫類が例年より少なく感じられ、毎年園内で普通に見つかるタマムシは 1 個体が目撃されたのみでした。梅雨明け後は気温が急激に上昇し、秋

には初冬並みに冷え込む日もありました。気候の変化が激しく、園内の生態系への影響が懸念されます。

1. 4. ナラ枯れ 8 月に、園内で 13 本のコナラでナラ枯れを確認しました。また正門外でも 3 本のコナラでナラ枯れを確認しました。引き続き注視していく必要があります。

ナラ枯れ調査

1. 5. 地下水・湧水の減少 近年、田んぼの両側からしみ出ている湧水の水量が少しずつ減少していましたが、12 月に、急激に水量が減少し、ほぼ枯渇状態となりました。この湧水は田んぼの水源であるため、枯渇状態が続くと田んぼの維持管理に影響が及ぶ可能性があります。現在は山裾からの雨水の浸み出しにより維持しているものの、注視が必要です。また、カエル池上流のポンプアップが稼働時間中に頻繁に停止するようになりました。地下水の水位の低下が原因と考えられます。これ以上の水位の低下が認められた場合には、流入水の確保等対策をとる必要があります。

1. 6. 伐採とその処理 冬季に主に西山の園路沿いの 10 か所で伐採・折枝の撤去・伐採枝の運び出しを横浜市に依頼しました。2 月に作業が完了しています。また、追加で東山、西山で 4 本の樹木の伐採・3 本の樹木の折れ枝撤去を業者に依頼し、2 月に作業が完了しました。どちらの作業でも、業者の方々が多くの伐採枝・丸太を運び足してくださったため、例年よりも伐採後の伐採枝・丸太の堆積は少なく済みました。ただし、市との連絡の行き違いにより、東山に重機が入ったことで、東山のフデリンドウの生息地が荒れる等の影響が見られました。今後は、伐採後の処理・整備と植生の保全の両立のために、事前の確認・計画を徹底します。大きな丸太は搬出されずに残されたため、ボランティアの方々と支援スタッフで山から降ろし、薪への加工を進めました。それでも、園内には山積みされた枝や丸太がいたるところにあるため、処理について引き続き横浜市と相談しながら検討していく必要があると考えられます。

1. 5. 支援スタッフ作業 伐採木の活用、機械整備、定例保全作業でできない高木の伐採*など、技術を要する作業は支援スタッフが担います。本年度は、新型コロナ感染拡大の影響もあり、支援スタッフ 3 人が全員そろって作業する機会が少なかったものの、伐採枝の運搬・伐採丸太の裁断、薪割等、2 人でできる作業を積極的に行いました。昨年からボランティアでご参加いただくようになった男性が、今年度も引き続き軽作業のお手伝いをしてくださいました。今後も安全管理・景観維持・林床の生物環境に配慮した管理作業を続けつつ、定例保全への参加を通じて生態園の保全作業に関心を持っていただいた方にお声がけをして後任のスタッフを探す努力をしていきたいと考えています。

1. 6. 平日の草刈りボランティア 草刈りの頻度を上げササの繁茂を抑えること、保護植物の見分け方等、植生保全の基礎知識を持ちながら作業ができる人材の育成を目的として、10 月から毎月第 1 木曜日に、ボランティアの方々と草刈りを行っています。園内での掲示や定例保全参加者への周知は勿論、チラシを近隣に配布する等、積極的な声掛けをしています。毎回 3～4 人ほどのボランティアさんにご参加いただき、興味のある方には積極的に保護対象種についての説明を行いながら作業をしています。

1. 7. 生きもの豊かな公園づくり 多様な植物が生息できるように保護し、植生に配慮した草・ササ刈りを行いました。植生の豊かさがほかの生きものの豊かさにつながり、生きものの賑わいを感じられる風景となります。昆虫たちのために草本を刈らずに秋まで茂らせる場所や、朽ち木を敢えて積んでおく場所を設けています。また、鳥類のためにヨシ帯を冬季はなるべく残す等、多様な生きものが生息できる環境づくりを心掛けています。来園者アンケートでは、生態園のよいところとして、子どもの多くが生きものの多さや存在について挙げており、おとなからも「遊歩道（園外）では出会えない花に出会える」とのご意見をいただく等、園内の生物の多様性を高く評価していただいています。（p.13-15）

1. 8. 安全　本年度は、9 月に散策中のボーイスカウトの子ども 1 名が竹林近くでスズメバチに刺される事故がありました。幸いすぐに病院に行き、その後も引率者と連絡を取り合いましたが、大事には至らなかったようです。その日のうちに公園事務所へ報告し、翌日には市から委託を受けた業者に巣の撤去を実施していただきました。

そのほか、来園者やスタッフに大きな事故や怪我はありませんでした。今後も「安全第一」を合言葉に、作業者は想定される危険の共有、作業における機械使用ほかルールの徹底、休憩時間の確保を守るほか、作業者同士の声の掛け合い等による意思疎通を十分に取りながら作業をしていきます。

課題　保全への参加　支援スタッフの後任者の募集　樹木伐採とその処理

2. 自然再生事業

サイハイラン

2. 1. 植物管理　林床を明るくし、植物の生育を促すためのササ刈りや低木伐採を全域的に行う予定でしたが、コロナ禍によるボランティアの人手不足で、伐採、草刈り作業が進まず、ササの繁殖や薮化が進行しています。これにより小さな草本類の日照不足、重ねて高木の成長による日照不足も進んでいます。これらは高木類の間伐と低木の伐採で対処するしかありません。また季節の進み方が異常に感じられ、開花時期の乱れ、開花期の短さ、結実の悪さ、またスミレ類やニリンソウなどの成長の悪さなどが起こっていますが対処が非常に難しい問題です。

前述（1. 4.）の通り、コナラの大径木でナラ枯れが発生しています。また他のサクラ類など高木では、大径木化・老齢化が目立ってきています。これらは、伐採するにしてもスタッフやボランティアの方による作業では行えないので、横浜市に依頼していますが、十分な対処はできていません。

全体的な植生環境は上記の影響があるものの維持されています。ただし、目立ち始めた草本・小低木類の生育不良が今年度も続いています。一方、最近季節変化の異常、季節の進み方が早く感じられ、前年度より 2、3 週早く咲く植物が見られます。気候とも絡む大域的な問題で、注意深く観察していくしかありません。

ゴマダラチョウ

2. 2. 昆虫観察　出現記録を始めて約 10 年、デジカメで写真に収め、それを基に種の同定作業に取り組んでいます。その結果、累積で約 779 種の昆虫を記録しています。市街地の真ん中に位置する緑地環境であることを考慮すると、それなりの種類の昆虫が生息していると考察されます。表では、昆虫の種数が増えていますが、種同定の精度が進み、記載数が増えたことや、外来種の記録の追加によるものであり、昆虫の生息状況が良くなっていることを意味するものではないと考えられます。前述（1.3. ）の通り、甲虫の目撃数が減り、ゼフィルス（アカシジミやミドリシジミ）のようなチョウ類等、他の昆虫でもあまり見られなくなった種もいます。気温の変化や周辺の宅地化の進行等、様々な環境の変化による影響が考えられます。（p16）　　課題　専門家による生態調査・評価

3. 田んぼ事業

田んぼにはドジョウやケラ、トンボのヤゴなどが見られます。日照と水と土とが揃った谷戸の畔周りなどには、生きものが多く見られます。小さい谷戸ですが、稲の生長が季節を彩り、東西の山の緑に囲まれた風景は、来園者の気持ちも和ませています。

【コロナ禍での米作り】

稲刈り
（家族ごとに場所を分けての作業）

本年度は新型コロナ感染拡大防止のために、例年のように参加者を募ってイベントとして米作りを行うのではなく、前年の参加者の中からボランティアを募り、田んぼの維持管理作業をしていただきました。緊急事態宣言中であった 5 月の田起こし代掻きまではスタッフだけで作業を行いましたが、6 月の田植えからは、9 家族のボランティアの方々に作業をしていただきました。脱穀以外の全ての作業は、密を避けるために作業日時をずらして実施しました。恒例の餅つきは中止としましたが、ボランティアの方々が積極的に維持管理に取り組んでくれました。（p17-18）

【籾摺り精米】　例年、機械の操作を含めた籾摺り精米作業は農家の方にご協力いただいておりましたが、本年度は田奈農協に籾米を運び込み、籾摺りを依頼し、農協の精米機で精米をしました。

4. 自然環境教育事業

4. 1. 催し　新型コロナ感染拡大に伴い、緊急事態宣言が出ている間は開催を中止しました。緊急事態宣言が出ていない時も、道具の使い回しや飲食を伴う体験型の催しは中止としました。観察会は参加者の人数を制限して開催し、できる限り自然観察の機会の提供を続けるようにした（p9-10）。観察会は、野の花ウォッチング 4 回とザリガニ観察会、秋の虫観察会を、体験型催しはネイチャーゲーム 2 回とネイチャークラフト 1 回を、それぞれ行いました。さらに、秋期にはおとな向けの草木染めと小学生向けのクリスマス飾り作りを試行で行い、新しい催しの模索を続けました。

【草木染め（試行）】　2018 年度も試行で行いましたが、今後はおとな向けに開催することを想定し、改めて試行を行いました。染色作業は、過去の試行の積み重ねもあり、複雑な工程もスムーズに参加者とともに行うことができました。また、作業の合間の時間にクイズと自然物を使った工作を行いましたが、おとなでも十分楽しんでいただけることが確認できました。

草木染

【クリスマス飾り作り（試行）】　小学生向けの工作イベントをより充実させるために、クリスマス飾り作りについて立案し、試行で開催しました。園内で枯枝や枯葉、木の実等を自分で探して集め、それらを使って工作を行いました。手取り足取り方法を教えるのではなく、自分の発想で形や作り方を自由に考えてもらうという新しいスタイルをとりました。スタッフの想像以上に自由な発想で工作ができることがわかり、来年度、イベントとして開催する際の参考となりました。

クリスマス飾り作り

4. 2. 教育機関の自然体験活動支援

【近隣小学校への支援】 本年も、茅ケ崎小学校と茅ケ崎東小学校5年生が、生態園の田んぼ（2枚あるうちの下の田）で米作りを行いました。コロナ禍であったため、一部の作業は教員だけで行いましたが、子どもたちは田起こし・代掻きから脱穀までを体験することができました。生態園の田んぼでの小学校による米作りは、指導者がご年齢を理由に退任されたことに伴い、本年度をもって終了となりましたが、地域の子どもたちの貴重な体験活動を指導、支援することができました。

この他にも、茅ケ崎小学校・茅ケ崎東小学校のクラブ活動の支援や総合学習等でのインタビューの受け答え等をしました。さらに、新型コロナの感染状況が落ち着いている時期は、茅ケ崎台小学校の支援級の生徒たちの自然観察での来園も月 1 回程受入れました。引率されている先生からは、生徒の多くが自然に触れ合うことをとても楽しみにしているため、コロナ禍ではあってもできる限り来園を続けたいとのお言葉をいただきました。

5. 自然の普及啓発事業

【広報誌】 小学校配布の季刊「生態園だより」、地域紙「タウンニュース」へ毎月の投稿を継続しています。

【ホームページ】 2019 年 1 月にリニューアルしたホームページのブログを月 2～3 回の頻度で更新し、現在の自然の様子や見られた生きもの、催しや活動をふんだんな写真を使って魅力的に発信しています。ブログを Facebook とリンクさせる等、SNS の活用も積極的に行っています。また、今見られる植物が掲載されたページを設け、月 1～4 回ほど更新しています（冬季を除く）。ホームページのブログを閲覧し、ニホンアカガエルの卵や昆虫を探しに来園する人も増えてきました。

【アメリカザリガニ冊子】 前年度完成したアメリカザリガニについての啓もうパンフレット「アメリカザリガニについて」を、本年度、地域の小学校に配布しました。その他、個人の方からの提供の希望もいただいたため、頒布を行いました。

【植物ガイドブック】 植物グループ（園内の植生調査をしているボランティアグループ）による植物ガイドブック「ようこそ生態園へ　秋の花 9－12 月」を発刊しました。春・初夏・夏に続く最終刊となり、待ち望んでいた方も多くいらっしゃり、多くの方にお求めいただいています。文章・写真ともに質の良さを高く評価いただいています。

【タケノコ、サンショウ、シイタケ】 地域の方々に自然の恵みを提供している公園として定着しています。本年度はタケノコが表年であったため、たくさんの方に提供することができました。サンショウの苗も、多くの方がお求めくださいました。シイタケは、収量は前年程でないものの、好評を得ました。

【園内掲示・展示】 来園者に生態園の自然や生きものを知り、親しみを感じていただけるように、生物展示、パネル等展示、植物名札を折々に更新しました。前年度 3 月から園内随所に掲示し始めたクイズは、子どもだけでなくおとなからも好評の声をいただいています。

6. 水辺委託業務

指定管理とは別に、横浜市教育委員会からの業務委託による水生生物の調査保全活動に取り組みました。主に水辺スタッフが生物調査、外来種駆除、アシ刈り、泥浚渫などを行っています。

6. 1. 水生生物保護 本年度の魚類と甲殻類の確認種数はいずれも 6 種でした。コイ科の希少種の平均採捕数は 188 尾と、昨年度の 135 尾と比べると多いものの、低い水準となっています。一方、本種の再生産に影響を及ぼしているブルーギルについては、合計捕獲数は 123 尾で、前年の 391 尾と比較して大幅に減少しました。

ニホンアカガエルの保護を 2009 年から続けていますが、今冬確認された卵塊は約 8 塊のみでした。本年度は例年より早めに、2020 年 2 月からカエル池を網で覆う等の対策を行いましたが、幼生の姿はほとんど確認できませんでした。

トンボ池では毎年 2-3 月にアズマヒキガエルが産卵しますが、今春確認されたのは約 5 卵塊のみでした。

6. 2. 外来種駆除 2018 年度から侵入が確認されているブルーギルを駆除するために、本年度は従来の柴漬け漁法、アイカゴ、小型定置網、手網による押し網漁法に加え、伊豆沼式人工産卵床（人工芝を敷いた籠にブルーギルに産卵するよう誘導し、産着卵ごと引き上げて駆除するもの）の設置と釣りも試みました。人工産卵床では産卵は確認されず、釣りはモツゴによる餌とりの妨害があり、効率的な駆除方法とはなりませんでした。ただし、本年度はブルーギルの仔稚魚が全く確認されなかったため、再生産はなかったものと考えられます。本種の再生産が失敗した原因についてははっきりとわかっていませんが、来年度も再生産の有無の確認・阻害は続けていくべきと思われます。アメリカザリガニについては、本年度の採捕個体数は 3,002 個体で、前年度の 2,569 個体より増加しました。これは柴漬け漁具の追加等、捕獲圧を上げた成果であると考えられます。

バケツリレーでの泥運び

6. 3. 泥 本年度は、総勢 50 名ほどのおとな数で御手洗池のカイボリ（横浜市教育委員会からの委託事業）を行いました。汚泥ポンプを使用し、例年より水位をさらに下げて沖の方まで広範囲に泥を浚いました。カイボリ後、透視度が計測器具の計測範囲を超える高さとなり（>50 cm）、カイボリ前（36 cm）と比べて大幅に上昇しました。大規模なカイボリは水質の改善に有効であると思われましたが、生物の適切な避難や田んぼ以外の泥の埋設場所・処理方法の検討等、課題も上がりました。また、秋期にスタッフ 3～5 名で、カエル池で 2 回、下流の溜まりで 1 回、泥上げを行いました。泥浚いは際限がなく、過酷な作業ではありますが、来年度も、本年度手を付けられなかったトンボ池も含めて、泥浚いを続けたいと思います。

6. 4. 水質 pH とCODは、カエル池、御手洗池、トンボ池の全てで例年と比べて大きな変化はありませんでした。透視度は、前述のように御手洗池で大幅に上昇し、さらにその下流のトンボ池でも上昇していました。湧水は、田んぼの東側から出ているものの量が過去最低を記録しました。

課題 ・泥の堆積と対応 湧水量の激減 外来種の駆除 生物環境の観察継続

7. その他

7. 1. 来園者アンケート　204 通の回答をいただきました(p13-15)。生態園のよいところとして、多くの方(52 通)から「自然」について挙げていただき、10 代の「自然の香りがよく気持ちが晴れ晴れする」という意見のように、子どもたちにとっても自然豊かな園内は居心地よく感じてもらえているようです。新型コロナ感染拡大に伴い、遠出を控え、近隣の散策を楽しむ方が増えたためか、「自然がたくさんで思いがけないスポット」(20 代)「タウンニュースで写真を見て、あることは知っていたが、本日初めて来てとても素晴らしいところだと感じた。時々寄りたい。」(50 代)等のお声もいただきました。「わかりやすく植物を教えてくださりありがたい」(20 代)、「スタッフの説明もわかりやすくていい」(80 代)等、スタッフの来園者対応についての評価のお言葉や、「ボランティアの皆さんの努力のおかげで良い環境が維持できていると知りました。感謝いたします。」(50 代)といったように、維持管理に対する労いのお言葉等、嬉しいご意見も多くいただきました。例年おとなから好評をいただいている植物名札について、本年度も「樹の名前、花の名前の名札がついてて良いです」(80 代)等、複数名のおとなの方から評価をいただきましたが、10 代未満の子どもたちからも「看板があるからわからない花の名前がわかる」「植物の名前がわかってよかった」、といったように、好評をいただきました。今後も花の時期に応じて設置を続けたいと思います。また、2020 年 2 月頃から園内随所に掲示し始めたクイズについても、「クイズがあっておもしろかった」等、10 代未満の複数の方から好評をいただきました。園内では生きものの採集ができませんが、その分、掲示物を利用して子どもたちに楽しんでもらえる工夫を続けていきたいと思います。

例年改善点として多く挙げられている池の水質と西門の開門については、掲示の明確化の成果か、例年より意見として挙げられることは少なかったです。平日の開園については、「お金を払ってでもいいから」とご意見に書かれていたように、一定の需要があるようです。また、「立入禁止の明確化」(20 代)「地図の歩行可能路をはっきり描いてほしい」(70 代)といった意見が寄せられました。これらについては、1. 施設管理事業で記載したように、スタッフ専用の作業道の入り口はロープから太い棒の柵に替え、地図を一般来園者が一目見てわかりやすいようなものを別途掲示する等、対応を図りました。今後も来園者の視点に立って、園路の整備をしていきたいです。また、「あるとよいもの」として、幅広い年代の多くの方から「椅子・ベンチ」とご意見をいただきました。ベンチの増設は、メンテナンスの負担の増加や置く場所等、課題もあるため、検討の必要がありそうです。

7. 2. 他団体との連携など

地域でパワフルに活動するおやじの会には、伐採木を提供、道具を貸出し、薪作りを園内で行っていただきました。また、千葉県の御宿町の議員十数名が水辺保全現場の視察に来園したため、保全活動について説明し、園内を案内しました。

7. 3. 新型コロナ感染拡大防止対策

新型コロナ感染拡大に伴い、横浜市のガイドラインを随時確認しながら下記のような対応を行いました。

【日常の対策】 スタッフは毎日出勤前に検温・体調チェックを行い、園内での職務にあたりました。トイレのドアの取手等を小まめに消毒しました。

【イベント・作業の感染防止対策】　緊急事態宣言中はイベント・作業を中止としました。体験型イベントは緊急事態宣言が出ていない場合でも講師と相談しながら開催可否を判断しました。

イベント・作業参加者には検温と体調チェックにご協力いただきました。参加を申し込んだ方には体調チェックリストを事前にメール添付で送信し、確認をしてから来園いただくようにしました。受付時に、非接触型

体温計で検温すると同時に、体調についての口頭での確認を行いました。

イベントを開催する場合、参加者は 5 名程度に限定し、開催中はマスクの着用を促しました。

保全作業や米作り作業では、作業者同士が十分に距離を保てるよう配慮しました。

保全作業では、軽食・水分の提供は中止とさせていただき、水分は各自でご用意いただくようにお願いしました。

米作り作業では、ボランティア参加者が田んぼや足洗い場で密集することを避けるために、作業によっては、2～3 日に分けて行いました。また餅つきは行わず、収穫したお米はボランティア参加者や協力者等に配布しました。

【周知】イベントや作業を中止とした場合には、申込みをされた方にはメール連絡を行ったほか、ホームページでも中止の旨を随時掲載しました。また、神奈川県の LINE コロナお知らせシステムに登録し、園内でとっている対策についての案内と共に QR コードを掲示しました。そのほか、来園者への対策への協力のお願いについて随時掲示を行いました。

詰所入口の対策物

【物品の購入】 感染拡大防止対策のために必要なものの購入を随時行いました。アルコール（手指用と物品用両方）と使い捨てマスクはストックも含めて常備しました。非接触型体温計や詰所内での打ち合わせの際に使うための卓上パーテーションも購入しました。

7. 4. 暑さ対策

近年深刻化している夏の暑さによる熱中症対策のために、イベント開催・作業実施の際には、気象庁の熱中症危険予報や WBGT 計による危険度指数の測定結果に基づいて開催時間・場所を適宜判断しました。また、塩分飴や保冷剤を常備し、適宜参加者に配布しました。

2020度　事業一覧

月	施設管理	自然再生	自然の普及啓発	
通年	管理　施設清掃 施設安全 柵点検 トイレ・花壇 園路草・木 園路刈草敷き シイタケほだぎ 道具・機械 魚籠・胴長 水槽管理 ポンプ水量 田んぼ維持管理 作業　伐採木玉切り 薪作り チッパー 低木・ササ刈	観察　植物定点 鳥類 昆虫ほか 調査　植生 水質 水生生物 昆虫ほか 駆除　移入植物 移入水生生物 アシ除去 ササ刈 保護　植物 カエル クモ等卵のう	掲示「今月の植物」 「御手洗池で見られる生きもの」 「昔ながらの米作り（年間風景）」 田んぼ作業風景（作業毎） 昆虫・鳥類等生きもの案内 その他活動案内パネル 植物名札 クイズ 展示　採集生物・ハチの巣・生物標本 飼育　魚類・カメ・ザリガニ・モクズガニ 催し　「めざせ！ザリガニマスター」5～10月 （引取り・記録受付のみ）	提供　野草カレンダー 生産物　タケノコ・ショウブ・ササ サンショウ（苗・実） 薪・竹トンボ・竹細工 ザリガニ 発行　ニュースレター（NL、毎月） 生態園だより（4回） 記念誌・生きものたち 植物Gブック「ようこそ生態園へ」 三つ折りパンフレット 「アメリカザリガニのこと」 発信　ホームページ （ブログ・イベント情報・今月の植物等） タウンニュース記事

<下線　は催し。後ろの数字はボランティアまたは参加人数>

月	施設管理	自然再生	米作り	催し・調査試行	普及啓発・広報	協力（地域・他団体）
4	枯木点検 植物保護紐張り 竹林管理 タケノコ堀り ハチトラップ設置・回収 山園路迂回路設置 トイレ清掃手順整理 コロナ対策看板設置	低木刈・ササ刈 池生物流出入防止構造作成 保護ナガコガネグモ卵戻し スギナ除去	種もみ漬け 種もみ撒き 苗床水やり・シート設置		クイズ看板設置 植物名札設置	小学校米作り打合せ
5	タケノコ堀り 薪作成 竹林管理 ハチトラップ回収 腐食看板作り替え ヨシ刈り コロナ対策（看板設置 消毒液等購入）	低木・ササ刈り 保護植物周り草刈り 保護植物囲い作成 保護植物移植 定置網設置 タナゴ調査 池生物流出入防止構造作成	苗床水やり・移動 苗床追肥 田んぼ取水口補修	ザリガニ引き取り （ザリガニマスター代替）	植物名札設置 クイズ・園内看板作成	種もみ播き（小学校）350
6	倒木処理 倉庫雨漏り対策 餅つき道具整理 溜まり泥上げ ヨシ刈り	草刈り 9 低木・ササ刈り 保護植物移植 池生物流出入防止構造作成 ブルーギル人工産卵床設置	苗取り 田植え 25 苗直し	野の花ウォッチング 5 ザリガニ引き取り （ザリガニマスター代替）	植物Gブック検討 前年度アンケート回答作成 コロナ対策 （HP掲載・周知方法検討）	田植え（小学校）270 （境界作成等準備も） 苗取り方法レクチャー （小学校の先生に）
7	園路水はけ対策 詰所扉メンテナンス カマ研ぎ 竹ササ刈（提供用） 刈ササ処理	草刈り 植物保護 （囲い・倒れ固定等） 保護植物移植 タナゴ調査 池生物流出入防止網修繕	草取り 18		植物名札設置 ザリガニパンフレット配布 （小学校） 生態園説明（茅ヶ崎小）	草取り（小学校教員）20 竹ササ提供 （小学校・保育園・シニアハウス） ザリガニ提供 （東京海洋大学）
8	伐採依頼木剪定 ナラ枯れ調査 園路ロープ張り	草刈り 池生物流出入防止網 メンテナンス 投網調査		ザリガニ観察会 5	20	草取り（小学校教員研修）2
9	園内点検 園路柵ネジ緩み点検・修繕 柵板修繕・作り替え スズメバチ事故対応 （報告・園路一時封鎖） 溜まり泥上げ	植物固定 保護植物囲い作成 ザリガニ駆除 26 罠籠改良	かかし作り 9 ヒエ除去 はさかけ馬設置	野の花ウォッチング 6	植物Gブック編集	小学校米作り打合せ インターンシップ実習受入 小学校クラブ活動打合せ
10	柵板修繕・作り替え 落葉はき 薪割 カマ研ぎ 展示水槽腐食状況確認 伐採依頼木剪定 泥上げ（カエル池）	かいぼり準備（ポンプ追加） 草刈り 12 草・低木刈り	稲刈り 26	草木染試行 5 秋の虫観察会 1 野の花ウォッチング 5	植物Gブック編集	稲刈り（小学校）350 御宿町視察対応 20 小学校クラブ活動補助 インターンシップ実習受入

青…水辺委託事業　　茶色…コロナ対策

月	施設管理	自然再生	米作り	催し・調査試行	自然の普及啓発	協力（地域・他団体）
11	落ち葉かき 伐採・伐採木運搬 展示水槽修繕	御手洗池カイボリ カイボリ事後処理 （ぬかるみ処理）	脱穀 21 籾摺り精米（JA）	野の花ウォッチング 6 クリスマス飾り作り（試行） 2 昔の話聞き取り 3 ネイチャークラフト 12	植物Gブック編集 2 植物Gブック秋号発刊	小学校脱穀補助 350 茅ヶ崎中学校生徒インタビュー対応
12	伐採木運搬 枯れ木伐採 薪割 岸辺土留めづくり 堆肥天地返し 展示水槽修繕 水道管凍結対策	草刈り 22		ネイチャーゲーム 4	植物Gブック編集 2	茅ヶ崎中おやじの会 薪割道具・丸太提供 都市大調査協力 （アンケート） 茅ヶ崎東小総合学習 （インタビュー対応）
1	岸辺土留めづくり チェンソー修理 展示水槽修繕 伐採木選定	草刈り 5 ヨシ刈り 保護エリア落ち葉かき	21年度資料作成等準備			小学校クラブ活動補助 （火起こし体験2回）
2	薪置き場整備 丸太裁断（ほだぎ用） 泥上げ（湧水水路） 展示水槽修繕 立入禁止箇所柵設置	草刈り 保護植物周り整理 アカガエル卵嚢保護	資料作成 マニュアル作成			茅ヶ崎台小支援級来園
3	展示水槽修繕 丸太玉切り 折れ枝点検 ハチトラップ設置 ほだぎ作り（菌打ち） 園路ロープ付け替え		次年度検討	ネイチャーゲーム 2	植物名札設置	茅ヶ崎台小支援級来園 明治大学植生調査打合せ 現地下見対応

□ 業者依頼業務・作業

項目	月日		説明
トイレ清掃全般	通年		斎藤商会

□運営ほか

月	運営	地域連携	
通年	報告（月次・四半期・年度/環境創造局） 計画提出（年度末/環境創造局） 事務局打合せ（毎月） 拡大事務局打合せ（適宜） 理事会・定期総会（年1回） 公園事務所打合せ（年1回程度）	借用（茅ヶ崎町内会館） 印刷（茅ヶ崎・茅ヶ崎東・中川小学校） 預け（Pボトルキャップ3kg→茅ヶ崎保育園） 授業フィールド（茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校） 調査フィールド（都市大） 米作り（茅ヶ崎・茅ヶ崎東小学校） クラブ活動（茅ヶ崎東小学校）	提供（薪→来園者・店舗） 提供（チップ→茅ヶ崎中学校・おやじの会） 提供（タケノコ・サンショウ・シイタケ→来園者） 提供（ザリガニ→iZoo・山形大学） 提供（竹材→保育園・茅ヶ崎小） 貸出（道具→おやじの会ほか）

月	運営	研修・視察等	月	運営	研修・視察等
5	19年度事業報告作成 委託報告提出（教育委員会） 事業報告提出（市民局） トイレ清掃業者契約締結 人事運営打ち合わせ 議案書作成 監査・理事会・総会		9	自賠責保険手続き 労働条件通知書見直し	
6	理事会・総会議事録作成 事業報告提出（環境創造局） 変更登記（法務局） 定款変更報告（市民局） 公園事務所打ち合わせ		10	雇用契約書改定 ウェブアクセシビリティ調査結果提出	水辺保全視察受け入れ
7	労働保険申告 支援作業打合せ 社会保険関係書類提出（社保事務所等）		11	雇用契約更新	
8	公園事務所打ち合わせ 行政評価受取		12	行政モニタリング 年末年始閉園掲示 年末調整・扶養控除申告作成	
			1	源泉所得税計算等年度末会計処理 ハラスメント規定・定年制　文書作成	
			2	税務署関係書類作成 予算作成 就業規則見直し 年度協定書類提出	
			3	各保険関係更改手続き 委託事業見積もり提出 事業計画ほか書類提出（環境創造局）	

□およその利用者数等

青…水辺委託事業

催し参加	ボランティア参加	入園数（活動外）		サポーター登録	スタッフ勤務	トイレ清掃
114	209	6,087			1025	360

□横浜市による実施作業ほか

項目		月	説明
行政評価	書類提出	10月	施設賠償責任保険証書複写提出
行政評価	面談	2月	シフト表・出勤簿、緊急連絡網、事故災害対応マニュアル、帳簿、拾得物台帳、利用者アンケート 提示
伐採		11月	園路に近いものを優先的に10本の樹の伐採を依頼

□取材

—

項目	月	説明
都筑交流ステーション	6月	米作り（田植え）
港北ガーデン	2月	周辺で見られる花の画像提供

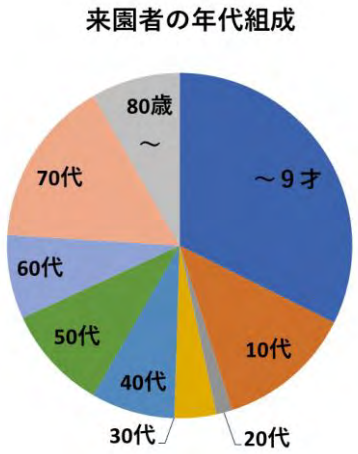
法人名： 特定非営利活動法人　茅ヶ崎公園自然生態園管理運営委員会

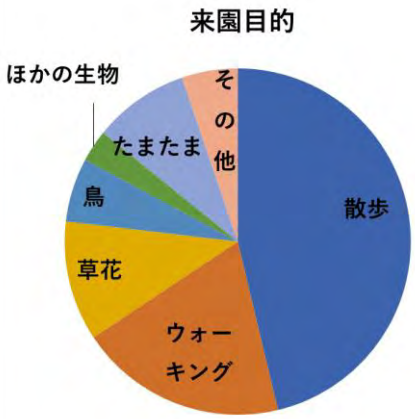
２０２０年度　収支計算書　　（2020年4月1日～2021年3月31日）

（単位：円）

科　目	横浜市 指定管理事業	一般会計	合計	
Ⅰ 経常収益				
1．受取会費(非)				
正会員受取会費		8,000	8,000	
賛助会員受取会費		57,000	57,000	
2．受取寄付金(非)				
受取寄付金・受取協力金		157,852	157,852	
運営協力金（自販機関連）		100,256	100,256	
3．事業収益				
横浜市指定管理費	10,156,300		10,156,300	
4 その他収益				
受取利息		46	46	
経常収益計	10,156,300	323,154	10,479,454	
Ⅱ 経常費用				
1．事業費				
（1）人件費				
施設管理事業①-1	1,019,125		1,019,125	
自然再生事業②	1,475,823		1,475,823	
田んぼづくり事業③	1,067,461		1,067,461	
環境教育事業④	694,587		694,587	
自然の普及事業⑤	989,797		989,797	
事業 管理人件費	1,434,296		1,434,296	
法定福利費	348,234		348,234	
福利厚生費	160,860		160,860	
研修費	25,467		25,467	
人件費計	7,215,650	0	7,215,650	
（2）その他経費				
①施設管理	690,775	5,480	696,255	＊内　トイレ施設管理委託　298,041
②自然再生	411,403	133,778	545,181	
③田んぼ	96,104		96,104	
④環境教育	113,315	1,050	114,365	
⑤広報啓発	567,561	55,500	623,061	
事業費 計	1,879,158	195,808	2,074,966	
通信費	116,768		116,768	
事務諸費・消耗品	52,026		52,026	
会議費・来客等	4,166		4,166	
旅費・市内交通費	14,130		14,130	
役員　交通・通信費補填	1,000		1,000	
給与ソフト使用料・ほか雑費	21,780	1,833	23,613	
管理費 計	209,870	1,833	211,703	
その他経費計	2,089,028	197,641	2,286,669	
事業費計	9,304,678	197,641	9,502,319	
2．管理費				
（1）人件費				
管理人件費	567851		567,851	
法定福利費	69,647		69,647	
福利厚生費	31,047		31,047	
研修費	5,094		5,094	
人件費計	673,639	0	673,639	
（2）その他経費				
通信費	23,439		23,439	
事務諸費・消耗品	9,355		9,355	
旅費・市内交通費	3,930		3,930	
役員　交通・通信費補填	5,000		5,000	
謝礼金・交通費ほか		2,654	2,654	
給与ソフト使用料・ほか雑費	4,356		4,356	
その他経費計	46,080	2,654	48,734	
管理費計	719,719	2,654	722,373	
経常費用計	10,024,397	200,295	10,224,692	
当期正味財産増減額	131,903	122,859	254,762	

■2020 年度　来園者アンケート■





あるとよいもの（ある:52、ない:137）

～9 才	【自然・生物】・タガメ　・コブラ　・冬に咲く花　・カワセミ ・鳥の赤ちゃん　・ウシガエル 【施設】・椅子　・遊具　・餌　・通り道　・水中が観察できるところ　・昔の家 【その他】・クイズの答え　・カブトムシとり　・ビンゴ　・亀とのふれあい
10 代	【自然・生物】・池にいろいろ入れてほしい　・白鳥、メジロ ・外来種に駆除されてしまう生物保護 【施設】・クイズがもっとあれば　・水飲み場 【イベント】・生きものめぐり
30 ～50 代	【自然・生物】・ヘビ　・ミヤコタナゴ 【施設】・椅子/ベンチ（5）　・バードウォッチング小屋　・鳥の巣箱　・野菜畑 ・カワセミの止まり木
60 ～80 代	【自然・生物】・小野草　・山草　・もっと草花　・トンボなどの成育池 ・区域の竹の駆除　・スイレン、コウホネ、ウナギ、ヘビ、クジャク、 ・トンボ、メダカ、イモリ、タニシ 【施設】・駐車場　・ベンチ　・水飲み場　・鳥のボード　・俳句用ポスト ・米作りの看板　・春秋の七草花壇　・稲の生長、田植え、稲刈り、池の写真 【イベント】・体験ツアー（ガイド付き）　・専門家による講習会 【その他】・キアシドクガが大発生したときに以前来たが、この時期（日） しかいない現象であることのアナウンスがほしい

気になること、改善した方がよいこと（ある:27、ない:96）

～9 才	【自然・生物】・ハチが怖かった　・生きものを自由にする　・カモ以外の鳥
10 代	【自然・生物】・採集可能にしてほしい　・池をきれいにする 【イベント】・平日に 1 日はやってほしい。たくさんやってほしい。 【その他】・ブルーライン　・なぜこの場所にできたか ・無くなってしまうか心配。ずっと続いてほしい
20 代	【自然・生物】・展示ザリガニの水がない　【その他】・立入禁止の明確化
30 ～50 代	【自然・生物】・水質改善 【施設】・土嚢袋が白く目立つのが残念。黒などにしてはどうか？ 【開園日時・開門】・西門の開門(2)　・平日の開園日(2)
60 ～80 代	【自然・生物】・カタツムリのような生きものが大発生。外来種？ ・モウソウチクの駆除　・樹々を伐採しすぎ　・花を植える ・入口付近の草花の場所の明示 【施設】・雑草の名札　・地図の歩行可能路をはっきり描いてほしい

よいところ、好きなところ

～9 才	【自然・生物】・自然（11）　・池(2)　・田んぼ(2)　・気持ちいい ・生きもの、動物（9）　・魚　・貝　・ザリガニ　・鳥の声(2)　・カメ(2) ・カブトムシ　・（古い）ハチの巣などが落ちている　・森の中みたい 【施設】・植物名札（「看板があるからわからない花の名前がわかる」「植物の名前がわかってよかった」）(2)　・クイズ(3)　・かかし　【その他】・広い
10 代	【自然・生物】・自然（13）　・生きもの（3）　・緑の豊かさ(2)　・鳥の声 ・自然の香りがよく気持ちが晴れ晴れする 【施設】・でかいハチの巣（詰所前展示）
20 代	【自然・生物】・自然がたくさんで思いがけないスポット 【スタッフ対応】・わかりやすく植物を教えてくださりありがたい 【その他】・よい運動になった
30 ～50 代	【自然・生物】・自然（8）　・空気が良い　・風が心地よい　・生きもの ・四季を感じる　【施設】・よく手入れされている 【その他】・すべて　・息子との思い出の場所である
60 ～80 代	【自然・生物】・自然（19）　・都市と共存した自然　・静けさ(5) ・空気の良さ(2)　・緑の多さ　・里山風景　・生物の自然の営み ・遊歩道では出会えない花に出会える　・多種の植物 【施設】・植物名札(2)　・自然に合わせた維持管理　・植物情報掲示 【イベント】・ガイド役の人が親切（野の花ウォッチング）　・田植え 【スタッフ対応】・スタッフの説明もわかりやすくていい 【その他】・田舎を思い出す、懐かしい(3)　・すべて ・階段のアップダウンで体力強化できる　・気持ちよく歩けている

その他

～9 才	・タケノコをもっと小さくしたらもってかえりやすい。 ・いろんなお花を探して楽しかった！ ・桜の木が大きい。田んぼにモンキチョウがくる。切り株にキノコが生えてる。 ・自然がいっぱいあってよかった。 ・ちょこちゃんだいすき。いちばんだいすき。 ・以前、職場の幼稚園の遠足で（平日に行った）生態園を通りたいと相談したところ、快く対応して下さっとこと、今でも感謝しています。（保護者・幼稚園職員）
10 代	・田んぼでドジョウを見ました。マイナスイオンをいっぱい吸って帰ります。 ・楽しかったです。 ・鳥の観察会があると嬉しいです。小さくていいので鳥の図鑑、お願いします。
30 ～50 代	・運営頑張ってください♡　通います!!　カエルの孵化たのしみです ・タウンニュースで写真を見て、あることは知っていたが、本日初めて来てとても素晴らしいところだと感じた。時々寄りたい。 ・田んぼでドジョウを見ました。マイナスイオンをいっぱい吸って帰ります。楽しかったです。 ・ボランティアの皆さんの努力のおかげで良い環境が維持できていると知りました。感謝いたします。これからもできる限り活動を継続してください。よろしくお願いいたします。 ・カワセミが見れて幸せです。カメがかわいいです。キンミズヒキとツユクサがきれいでした。 ・また来ます。四季折々楽しみです。 ・私の安らぎの大好きな場所です。桜が見たいです。ツクシが見たいです。自然が大好きです。ここが会って本当に良かったです。
60 ～80 代	・整備されるのに大変ご苦労様です。また季節を変えて必ずたずねます。いつまでもこの自然な環境を望みます。 ・ありのままの自然な里山を保つこと大変とは思いますがよろしくお願いいたします。 ・久しぶりに今日園内に入りましたが、草花の紹介札が増えており、いいことだと思いました。ありがとう。 ・雑木林の更新の予定は？ ・7－8 年ぶりに訪れましたが、樹の名前、花の名前の名札がついてて良いです。花の期にまた訪れたいです。ありがとうございました。 ・田舎から来ているので懐かしい山であります。公園は立派にしてあると思いました。

2009年～2021年5月で観察できた昆虫

	種類	2012.2.21	2013.4.15	2014.6.11		2015.4.05		2016.5.12		2017.5.10		2018.4.22		2019.4.08		2020.5.15		2021.5.15		前年比
1	チョウ	40	45	46	10%	47	9%	48	8%	48	8%	48	7%	48	7%	48	7%	48	6%	0
2	ガ	17	47	69	15%	87	17%	122	20%	141	22%	163	24%	195	27%	209	28%	234	30%	25
3	セミ	5	5	5	1%	5	1%	5	1%	5	1%	5	1%	6	1%	6	1%	6	1%	0
4	カメムシ	22	35	53	11%	56	11%	61	10%	62	10%	67	10%	68	9%	68	9%	70	9%	2
5	トンボ	18	20	24	5%	24	5%	26	4%	25	4%	25	4%	26	4%	26	4%	26	3%	0
6	カミキリムシ	8	19	24	5%	29	6%	30	5%	30	5%	30	4%	31	4%	31	4%	34	4%	3
7	コガネムシ	16	21	22	5%	23	4%	24	4%	24	4%	25	4%	25	3%	25	3%	27	3%	2
8	テントウムシ	9	13	14	3%	14	3%	14	2%	15	2%	15	2%	16	2%	17	2%	18	2%	1
9	ハチ	14	20	28	6%	31	6%	38	6%	40	6%	42	6%	47	7%	51	7%	50	6%	-1
10	バッタ	10	10	10	2%	10	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	12	2%	0
11	ハムシ	9	23	30	6%	32	6%	32	5%	32	5%	34	5%	34	5%	34	5%	34	4%	0
12	ゾウムシ・オトシブミ	8	17	25	5%	28	5%	30	5%	32	5%	32	5%	32	4%	32	4%	33	4%	1
13	アブ	5	15	17	4%	19	4%	23	4%	24	4%	24	4%	24	3%	24	3%	25	3%	1
14	その他（ゴミムシ、カゲロウ、ハゴロモ、カマキリ、ナナフシ、 キリギリス等の仲間）	56	90	107	23%	120	23%	138	23%	145	23%	151	22%	156	22%	155	21%	162	21%	7
	計	237	380	474	100%	525	100%	603	100%	635	100%	673	100%	720	100%	738	100%	779	100%	41

■2020年度　アンケート用紙による回答■大人回答6（新型肺炎拡大防止のため、米作りサポーターとして

一年間の米作りを通じて感じられたことがありましたか？	・感染症警戒態勢の中、感染予防をしながら開催していただけた事に感謝します。この一年はメンバーが少ないながら、だからこそ更に協力し合って各作業を行なってきて、私はとても楽しかったです。生態園のみなさまも例年よりも作業が増え大変な思いをされたと思いますが、おかげで立派なお米を収穫できてとても嬉しかったです！こういう時期だからこその喜びもありました😊 ・今年は参加人数が少なく、少し残念が気持ちもありましたが、その分スタッフの方達とコミュニケーションがとりやすく、去年より田んぼのことを深く知ることが出来たと思います。またコロナの影響で世間のイベントは中止が相次ぎましたが、スタッフの皆さんが色々と考えて対応してくださったおかげで、何の心配も無く参加させていただきました。ありがとうございました(#^.^#) ・周りに影響されずに家族で作業ができて良かったと思う。 ・ 知らないことが多くいろいろ勉強になった。新鮮な経験ができた。 ・家族ごとに細分化されたせいか、作業時間が短く感じました。 家族で作業することが限定され、その他の作業（代かきなど）がスタッフさんにお任せになったので申し訳ないと思っています。 当初は家族間、子供たち同士の交流が少なくなったと感じましたが、後半はそこそこできたかなと思います。 外出を自粛する中で、米作りに参加でき、野外で活動する機会があってよかったと思っています。 ・お米を作るのは本当に大変なことと実感しています。 食べ物を大切に思うこと、農家の方への感謝の気持ち、それに伴い昨今のフードロスの問題などにたいしても関心があります。		
感染症の感染予防のために、日時をずらして家族単位で作業を していただくことについて(ご意見)	・この状況では必要な対策だと思う。 ・周りに影響されずに家族で作業ができて良かったと思う。 ・感染予防の観点から、適切な判断だったと思います。 ・特に不安を感じたことはありません。 引き続き油断なく対策（参加時の健康確認、会話の際はマスク着用など）を続けてゆくことが必要と思います。 ・感染症対策もいろいろ考えてくださり、無事に終了できたことに感謝します。 家族単位で行う方法も良かったと思います。 ・屋外でもあ利、人数を減らしての作業でしたので、特に密に感じることもなく安心して参加することができました。		
感染症対策として不安だったこと、改善した方がいいと思われたことがありましたか？	・特にありません。 ・夏はマスクしながらは厳しいので、少人数でやらざるを得ないだろう。 ・感染対策は適切に行われていたと思います。		
スタッフへの要望・ 希望はありますか？	・前例のない状況の中でイベントを完遂できたのは、スタッフの皆さんのおかげだと思います。お疲れさまでした。 ・生態園のみなさまも不安な日々をお過ごしのところ、お米作りを開催していただいてありがとうございます😊 ・いつも丁寧に対応してくださり感謝しています。		
他に意見があれば自由に書いてください。	・もちつきや修了式がなかったので、イベントとして達成感が今一つなかったと思います。 みんなで集まって、もち米を渡してもらうといった区切りのイベントがあればよかったかなと思います。 密を避けるのが大切なのはよくわかりますが、希望者だけ野外の集合場所に集まる程度であれば問題にはならないと考えています。		
来年度の米作り体験に参加しますか？	参加する	参加しない	検討中
	4（よろしくお願いいたします！）	1（引っ越しのため）	1

■2020年度　アンケート用紙による回答■こども回答5（新型肺炎拡大防止のため、米作りサポーターとして参加）

たのしかったですか？	とても楽しかった		たのしかった		まあまあ		たのしくなかった		未回答
	3		2		0		0		0
何がたのしかったですか？	田起こし	田植え	草取り	かかし作り	稲刈り	脱穀	おもちつき	堆肥いれ	
	実施できず	5	3	2	4	5	実施できず	実施できず	
ことしは新型コロナウイルスに感せんしないように、家族だけで作業をすることもありました。おおぜいで作業をするのと、少ない人数で作業をするのはどちらがよかったですか？	みんなと				少ないにんずうで				未回答
	2				3 ・周りを気にしなくていいから ・安心だから ・今はコロナが流行っているので少ない人数でできるほうがいい コロナが終わったらみんなで作業したい				0
ぜんたいをとおして通して困ったことはありましたか	なかった				あった				未回答
	5				0				0
また米作りに参加したいですか	はい				いいえ				未回答
	5				0				0
ほかに思ったことなどがあればおしえてください。									
・いろんな虫やザリガニが見れたことが楽しかったです。 ・米作りの作業中、いろんな虫や生き物を見つけるのが楽しい。 大好きなお餅（もち米）を作れるのが楽しい。もらったお米でお餅をつくって楽しい。 ・みんなで虫やザリガニを捕まえられたからとても楽しかった。									